

令和3年1月25日

保護者の皆様

令和2年度知立小学校学校評価－ アンケート結果・分析 －について

知立市立知立小学校長 橋本 昭

日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。令和2年度は、コロナ禍のため多くの行事が中止となるなど、活動が十分できない年でした。このような年でしたが、私たちは子どもたちの安心と安全を第一に、教育活動を進めてまいりました。こうした活動に対して、年末に皆様にアンケートのご協力いただき、私たちの活動を振り返る機会とさせていただきます。そのアンケート結果がまとまり、分析を行いましたのでお伝えします。この結果をもとに、今後の知立小学校の教育活動に生かしてまいります。ご協力いただき、ありがとうございました。

調査目的：児童生徒がより良い教育活動等を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指すための資料とする。

調査時期：令和2年12月

調査方法：紙面によるアンケート

活用方法：結果について分析し、今後の知立小学校の教育活動に生かす。

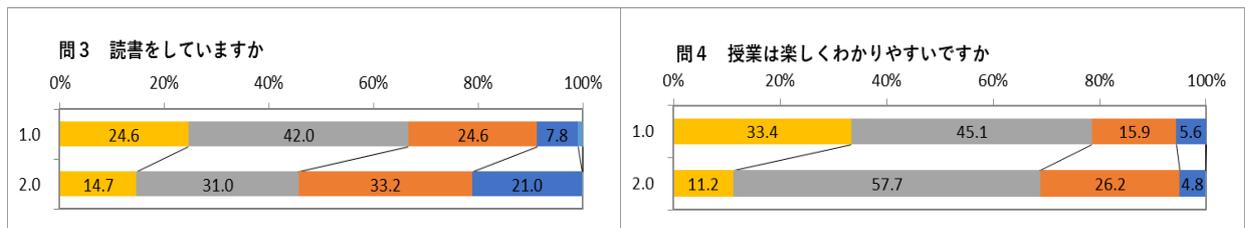
調査対象 回答率

児童(3～6年生) 99.9%(在籍数 542、有効回答数 536)

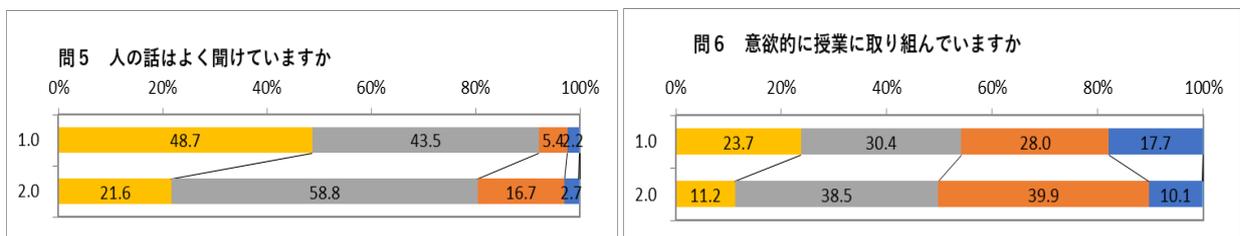
保護者(全員) 95.7%(在籍数 846、有効回答数 810)

I 本校の教育目標1 「進んで勉強する子」 について

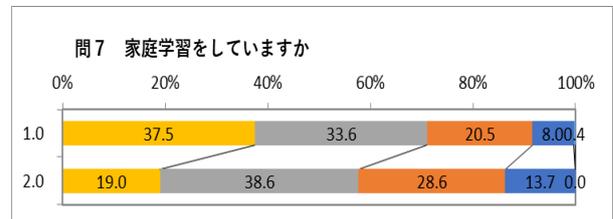
■ 4 4そう思う ■ 3 ややそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない
1: 児童 2: 保護者



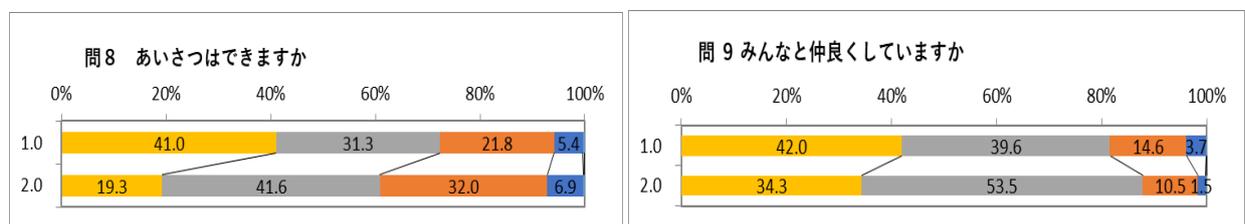
- ・「読書」については、本をよく読んでいる児童は約7割を切って、昨年度よりやや減っている。改修工事やコロナ禍での図書室の閉館が半年以上続いたことが影響したと思われる。
- ・「授業は楽しいか」については、児童8割はわかりやすく楽しいと回答している。しかし、臨時休業等の遅れを取り戻すために急いだり、工事等で少人数授業ができなかったりと個々に十分に対応できなかったという職員の反省もあったので、2割の楽しくないという子が出たかもしれない。



- ・「話を聞く」の間には、児童の9割以上が聞けていると答えている。意欲的に授業に取り組んでいるという児童が5割を超え、昨年度より10P近くアップし、逆に取り組めていない児童は7P減っている。考えや思いを発表できるようにするには、聞いてもらえるという安心感が重要だと考え、「聞く」ことに力を入れて指導をしてきた成果が出てきたように思う。
- ・「家庭学習」については、できているという回答が児童7割・保護者6割に留まっている。今後も今年度のように家庭学習を強いられることもあると思われるので家庭学習の充実のため、保護者の皆さんとの連携も図りたい。

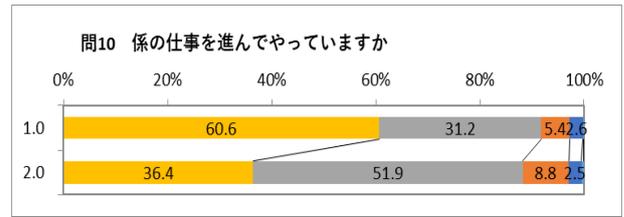


II 本校の教育目標2 「思いやりのある子」 について

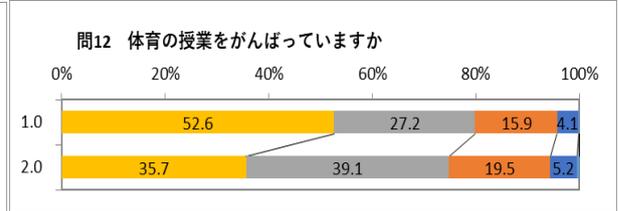
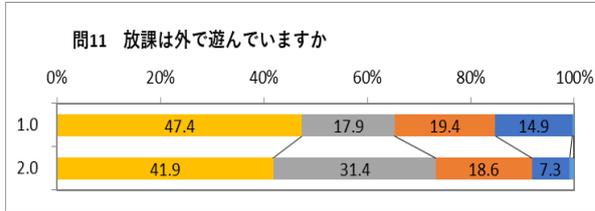


- ・「あいさつ」に関しては、例年と同様な回答である。「おあそび運動」をもっと日常的に推進していくとともに、教師があいさつを大切に、率先垂範していきたい。
- ・「みんなと仲良くしているか」については、保護者は昨年同様で9割近くができていると回答しているのに対し、児童では8割と昨年より10Pほど下がっている。「みんなと仲良く」は、問5「人の話を聞く」の底上げにもつながる項目である。今後さらに、思いやりの心を学校教育全体でねばり強く育んでいきたい。

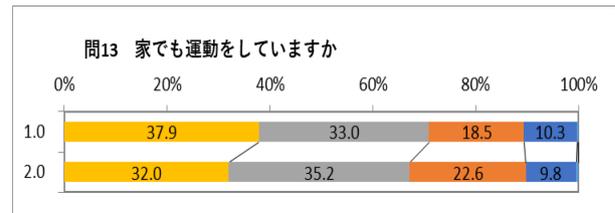
- ・「勤労意欲」については、概ね良好な数値で、学校での清掃活動や係活動にも熱心に取り組む姿が見られる。こちらも問9「仲良く」に関連づけて指導を進め、協働する姿勢につなげたい。



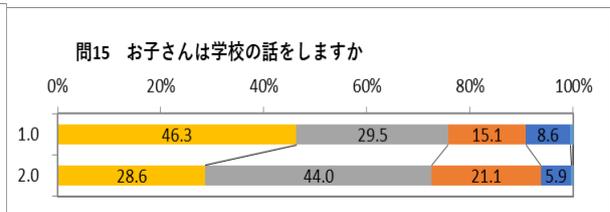
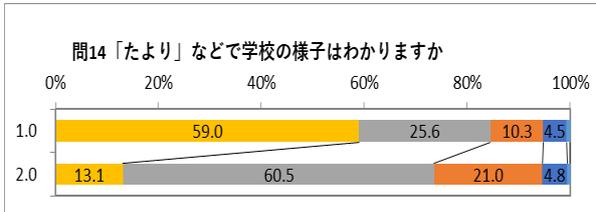
Ⅲ 本校の教育目標3 「力いっぱい運動する子」(体力づくり、外遊びの充実) について



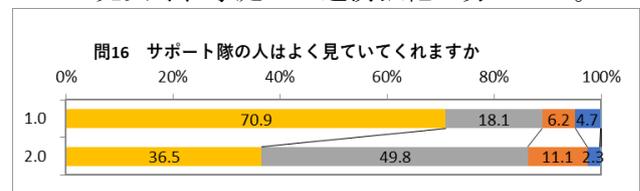
- ・「放課中の外遊び」については、コロナ禍の今年度は体育的行事が激減している中ではあるが、子どもたちの外遊びの数値は変化がない。ただ、委員会や学級等の仕事が多くなることもあるが、4年生以上の学年で「できている」が下の学年と比べ10P下がっていることが気になる。
- ・「体育の授業」の様子を尋ねると、記録の向上等を目指して8割以上の児童ががんばっている様子が見られる。今年度できなかったチャレンジタイムなどで、目標づけができるのと体を動かす機会が増やせ体力向上につなげようである。
- ・「家庭での運動」については、できているという回答が7割ほどで、学校での外遊びの数値より低い結果となっている。このことから、子どもたちの体力づくりに学校での活動が重要であることがうかがわれる。今後も工夫し活動を設けていきたい。教員に「児童と外遊びをしているか」を尋ねると、遊んでいるという回答は10%程であった。その日に返す連絡帳などの点検記入を考えると、遊びに出たいがなかなかできないと聞いている。職員の仕事の内容等も精選し、教員が子どもと外で遊べる時間を増やし、子どもたちの体力向上につなげたい。



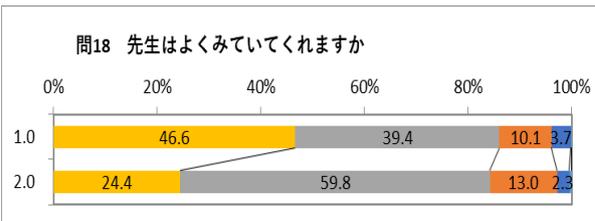
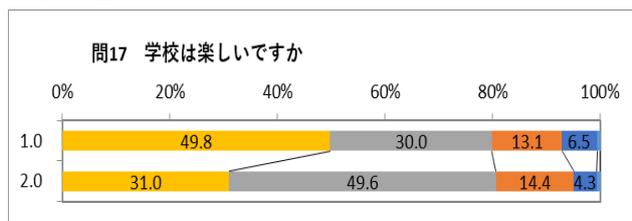
Ⅳ 家庭・地域との連携、安心・安全について



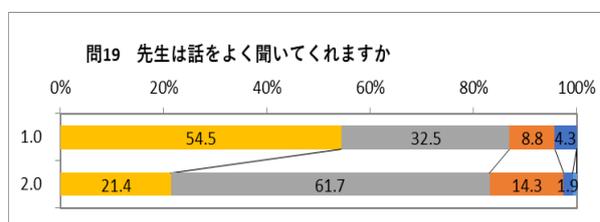
- ・「学校の様子がわかるか」では、児童の9割近くは、便りを見せたり、学校の様子を家で話したりすると答えている。「親子の会話」については、7割強ができているという回答であるが、子どもたちは学年が上がるにつれ話す頻度が減る傾向にあり、3年と6年では20Pほどの差がある。こうしたこともあり、保護者の感じる伝達度は若干低い。今年度は保護者の皆さんに学校に来ていただく機会が激減したことも関係したと思うが、通信やホームページの充実等、家庭との連携強化に努めたい。
- ・「サポート隊等」に見守っていただいているという認識は、児童・保護者とも高い。ただ、サポート隊も110番の家のどちらの年々減少傾向にあるので、何とか新規を募っていきたい。



V その他



- ・「学校は楽しい」と思っている児童が多いが、2割の子たちが楽しくないと答えている。学年差はあまりないが、各クラスに5人程度はいる割合である。幸い、「先生はよく見ている・話を聞いてくれる」という問いには9割近くの児童がそうであると答えているので、価値観が多様化している子どもたち個々をよく見て、話を聞いて、誰もが楽しいと感じられる学校づくりを進めたい。



	遠足等	学芸会	マラソン大会	運動会	無答	合計	%
児童	61.6	7.1	13.1	17.9	0.4	100.0	
保護者	36.9	9.4	14.4	38.6	0.6	100.0	

- ・「やってほしい行事」は、児童では、1位が遠足等、2位が運動会、3位がマラソン大会で学芸会が4位となった。保護者では、1位が運動会、僅差で2位が遠足等、3位がマラソン大会、4位が学芸会となった。今年はできなかったことが多いが、次年度の計画時にこの結果を考慮したい。

学校行事の精選へのご理解をお願いします

本年度より始まった新学習指導要領の趣旨を受け、知立小学校でも授業改革などの準備を進めてまいりました。教師が主導の授業から、子どもたち一人ひとりが主体的に学べる授業をめざし、ICTの活用をはじめとした教具の工夫から、子どもたち一人ひとりをよりよく把握するためのワークシートや評価の方法等も研究してきました。しかし、本年度はコロナ禍での臨時休業分の回復のため、また、感染防止の対応のために「準備してきたけれどもできなかった」ことがたくさんありました。まだまだ先は見えてきませんが、こうした状況下でも新しい指導要領に即した授業を行うため、新たに教材研究をし、教具等の準備を進めてまいります。昨年度もお知らせしましたが、3年生以上は事実上週時数が1時間増えました。そのため、火曜日、木曜日の6時間日課も増やしていきました。(欠時を補うため、本年度の木曜日は7時間日課でした) こうした状況下で、勤務時間内に教材研究をする時間は毎日1時間とれないのが現状です。(実際には、個々に授業以外の会計等の仕事も割り振られております)

知立小学校の勤務時刻 8:20～16:50

授業等の指導に当たる時刻 8:20～16:00 (6時間日課時)

教材研究に費やすことのできる時間は・・・

そこで、今後も子どもに直接関わらない教職員の仕事はもちろんのこと、学校行事の精選も進めてまいりたいと考えております。ご理解とご協力をお願いします。